

令和2年度

岡崎市下水道事業会計

8

0 9

損益計算書

貸借対照表

よくわかる
決算書

©キャッシュフロー



©R.S.H/RUNE

岡崎市上下水道局

7

4

6

2 5

1

3

目次

1 決算書とは？	1
2 経営成績はどうだったの？	2
まずは、損益計算書で入ってきたお金（収入）を見てみよう！	2
次に、使ったお金（支出）の内容を見てみよう！	3
損益計算書の「収入」から「支出」を引いてみよう！	4
「資本的支出」（＝損益計算書には載っていない支出）を見てみよう！	5
「資本的収入」（＝損益計算書には載っていない収入）を見てみよう！	6
「資本的収入」から「資本的支出」を引いてみよう！	7
減価償却費のイメージを見てみよう！	8
まとめ	9
3 留保資金の推移を見てみよう！	10
4 下水道事業が置かれている現状を見てみよう！	11
5 財務三表を読み解こう！	12
【図解】損益計算書	12
【図解】貸借対照表	13
【図解】キャッシュ・フロー計算書	14

1 決算書とは？

岡崎市下水道事業では平成 24 年度から公営企業会計を導入しています。

公営企業会計では民間企業のように複式簿記を使って記帳を行います。その記帳の内容を取りまとめたものが「決算書」になります。

決算書は、4月1日から翌年の3月31日までの1年間の経営成績と財政状態について、損益計算書、貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書（財務三表と呼ばれます。）などの決算書類で表しています。

ただ、この書類は初めて見る人には少し難しい内容です。

そのため、使用者のみなさんに決算書に書かれていることを分かりやすくお伝えし、岡崎市の下水道事業がどのような状況なのかを少しでも知っていただけるよう決算書の概要版を作成しました。

決算書を見てみたけど、見慣れない言葉が多くてよく分からなかったよ～。



©R.S.H/RUNE

岡崎市出身アーティスト「内藤ルネ」デザイン

ルネパンダ



ぼくが決算書を分かりやすく説明するよ！

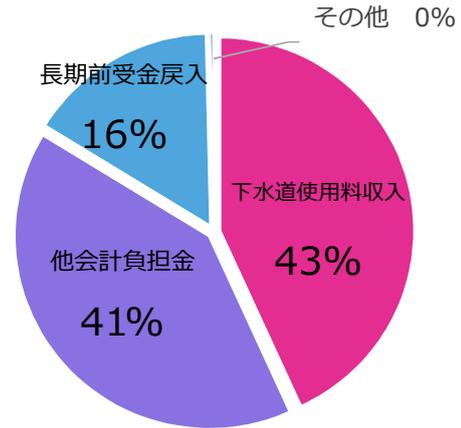
岡崎市水道マスコットキャラクター

スイットくん

2 経営成績はどうだったの？

まずは損益計算書で、入ってきたお金（収入）を見てみよう！

収入（損益計算書）	（税抜）	
内容	金額（円）	割合（％）
下水道使用料収入	3,861,883,179	43%
他会計負担金	3,627,489,511	41%
長期前受金戻入	1,422,069,503	16%
その他	32,350,698	0%
合計	8,943,792,891	100%



下水道事業は、みんなが払う「下水道使用料」で経営しているんだよ！！

あれ!?

でも...収入には、「下水道使用料」のほかに「他会計負担金」や「長期前受金戻入」ってあるね.....これはなに？



よく気が付いたね！

下水道管には、みんなの家からの「汚水」と「雨水」が流れているんだ！！
「汚水」の費用は、使った人が支払うんだけど、まちを水害から守る「雨水」のための費用は、岡崎市の「税金」で支払うというのがルールなんだよ！！
雨水を排水するための施設の維持管理は下水道事業で行ってるから、「岡崎市」から「下水道事業会計」に支払われるんだ。それが「他会計負担金」だよ。

「長期前受金戻入」は難しいから、もう少しあとで説明するね。

下水道には2種類あって、それぞれ「使っている人からの使用料」と「みんなからの税金」で賄っているんだね！



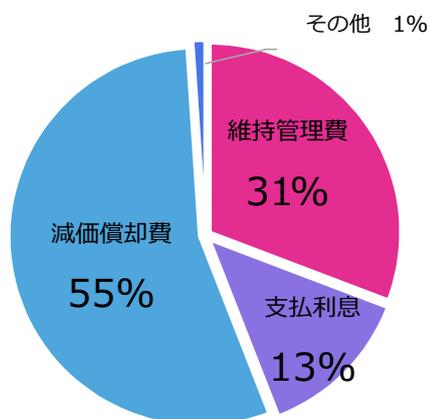
©R.S.H/RUNE

次に、使ったお金（支出）の内容を見てみよう！

支出（損益計算書）

内容	金額（円）	割合（％）
維持管理費	2,556,082,111	31%
支払利息	1,099,593,798	13%
減価償却費	4,550,633,926	55%
その他	86,559,682	1%
合計	8,292,869,517	100%

（税抜）



「維持管理費」って具体的には何なの？



汚くなった水をきれいにする処理場（矢作川浄化センター）や、みんなの家から処理場へ汚水を送るポンプ場の電気代や薬品費、汚泥の処分費などの費用や、下水道の仕事をしている職員の給料とかが「維持管理費」に含まれているよ！！

「支払利息」って何の利息？



下水道事業の施設を作るときに国の機関などから借り入れたお金の利息になるんだけど、約11億円もあるんだよ。

もう一つの「減価償却費」って、さっぱりわからないけど...



©R.S.H/RUNE

「減価償却費」は、「長期前受金戻入」とセットで考えると分かりやすいんだ。あとでまとめて説明するね！

まずは損益計算書から分かることを次のページで説明するね！



損益計算書の「収入」から「支出」を引いてみよう！

収入－支出＝純利益（純損失）

650,923,374



約6億5千万円のプラスだね。

「収入」から「支出」を引いたものがプラスだと「純利益」、マイナスだと「純損失」と呼ぶんだよ！黒字、赤字って言うと分かりやすいかな？

損益計算書から分かるのは、下水道事業が黒字だったか赤字だったかってことなんだ！

6億5千万円も黒字なら下水道事業は安心ね！



その通り！！・・・と言いたいところなんだけど・・・。

実は損益計算書には載っていない「支出」があるんだ・・・！！



損益計算書には、その1年の間にかかった費用を載せるって決まりがあるんだ！

たとえその年に支払った施設の建設費であっても、建設した施設は、その年だけじゃなく施設がある限りずっと使えるよね。

だから、その1年の間にかかった費用とは言えないから損益計算書の「支出」には載っていないんだ！

ちなみに、この損益計算書には載っていない支出のことを、「**資本的支出**」って呼ぶよ！！

急に難しくなったね・・・。

とにかく、施設の建設はその年のことだけじゃないから損益計算書には載っていないのね。



©R.S.H/RUNE



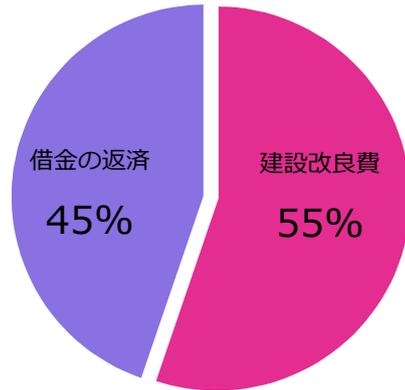
次のページで「資本的支出」について説明するね！！

「資本的支出」（＝損益計算書には載っていない支出）を見てみよう！

資本的支出（損益計算書に載っていない支出）（税抜）

内容	金額（円）	割合（％）
建設改良費（※）	5,050,371,166	55%
借金の返済	4,097,143,339	45%
合計	9,147,514,505	100%

※前年度からの繰り越し工事に係る支出を引いておりますので決算書の数値と一致しません。



建設改良費が施設の建設費のことだよ。
施設の建設には約50億円もかかっているんだ！！
あとは、施設を建設する時に借りた借金を返すお金も損益計算書には載っていないよ。

損益計算書に載っていない支出が約91億円もあるのね・・・。
損益計算書の収入は維持管理費などで使ってしまった全然足りない気がするけど、他にも収入があったりするの・・・？



©R.S.H/RUNE

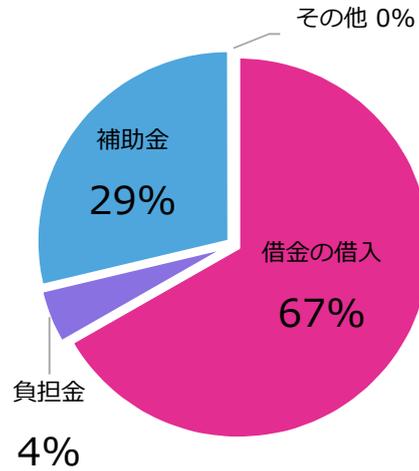


そうなんだ！！
施設の建設費が損益計算書に載っていないように、損益計算書に載っていない「収入」もあるんだよ。
施設の建設のために借りたりもらったりするお金なんだけど、これを「**資本的収入**」って呼んでるんだ！
「資本的収入」について、次のページで説明するね！

「資本的収入」（＝損益計算書には載っていない収入）を見てみよう！

内容	金額（円）	割合（％）
借金の借入	3,846,000,000	67%
負担金（※）	263,004,980	4%
補助金（※）	1,655,376,709	29%
その他	1,688,250	0%
合計	5,766,069,939	100%

※消費税の計算上生じる雑支出や、来年度の繰り越し工事に係る収入を引いておりますので決算書の数値と一致しません。



借金の借り入れが大きいことが分かるね。
次に大きい補助金は、国からの補助金がほとんどなんだ。



国からの補助金ということは、ここでも税金が投入されてるの？



するどい！
その通り。補助金は税金だよ。
地震や浸水のような災害への対策はとってもお金が必要だから、下水道使用料だけではなかなか進められないんだ。だから税金をもらっているよ！



負担金についても教えて！



負担金には、新しく下水道を整備した地区に土地を持っている人からもらっている「受益者負担金」や、雨水を排水する施設の建設費に対する岡崎市からの負担金などが含まれているよ！
じゃあ最後に、損益計算書で純利益（純損失）を計算したように、「資本的収入」から「資本的支出」を引いてみよう！

©R.S.H/RUNE

「資本的収入」から「資本的支出」を引いてみよう！

収入－支出（施設の建設）	-3,381,444,566
--------------	----------------

33億8千万円の赤字！？
いったいどうやって施設の建設をしているの・・・？



この赤字分も損益計算書の収入で補わなくちゃいけないんだ。

損益計算書の収入で補う・・・？
でも損益計算書の収入は「維持管理費」や「減価償却費」で使ってしまった6億5千万円しか余ってないじゃない！！



すごい！よく覚えているね！！
下水道使用料等の収入から維持管理費や減価償却費等の支出を引いた残りが純利益だったね。
ここで問題なのが、「減価償却費」と「長期前受金戻入」なんだ。
その年に支払った施設の建設費であっても、建設した施設は、その年だけじゃなく施設がある限りずっと使えるから、損益計算書の支出には載せないんだね。
その代わりに、建設費を施設が使える年数で割ることで、その1年の間にかかった費用を計算するんだ。これが「減価償却費」だよ！！
「長期前受金戻入」は、「減価償却費」の収入版で、施設の建設の際にもらった負担金や補助金を、その施設が使える年数で割って、その1年の間の収入を計算したものなんだ！



なんだか言葉だけではなかなか理解できないなあ・・・。



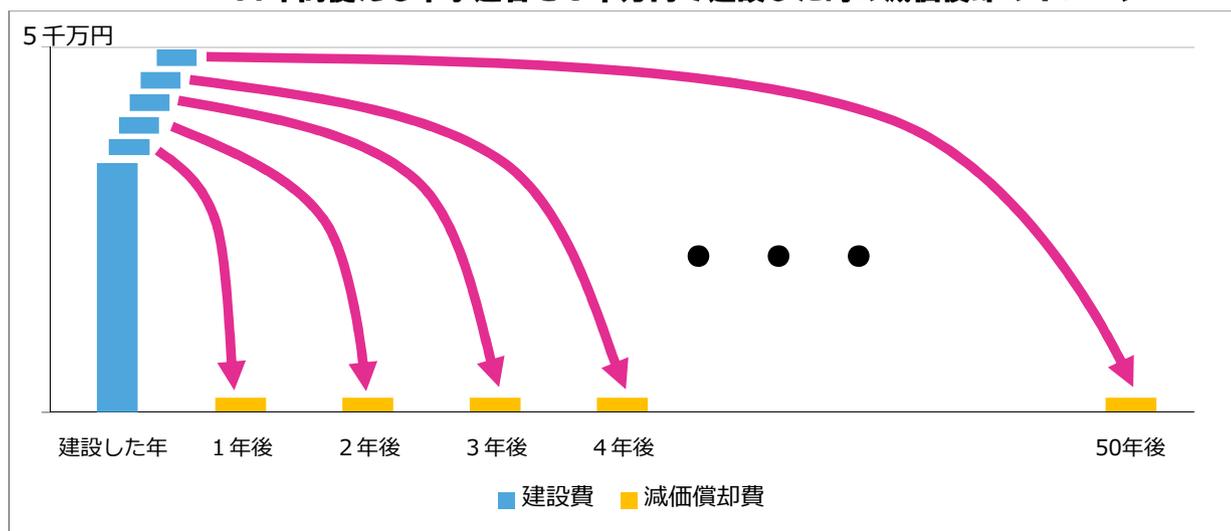
©R.S.H/RUNE

そうだね、言葉で説明するのがとっても難しいから、次のページで図で説明するね！！



減価償却費のイメージを見てみよう！

50年間使える下水道管を5千万円で建設した時の減価償却のイメージ



建設費5千万円を下水道管を、使える年数の50年で割った100万円が毎年の減価償却費になっていることがわかるね！！長期前受金戻入も、「支出」か「収入」だけの違いで考え方は同じだよ！！

う〜ん……。やっぱり難しいけど、なんとなく分かったわ。
でもこれが、「資本的収入－資本的支出」の赤字とどんな関係があるの？



また少し難しい話になってしまうけど、「減価償却費」はその年にお金が使われていない費用なんだ。
上の図で言うと、建設した年に5千万円は支払い済みだから、1年後以降の100万円はお金が出て行ってないんだ。
だから、損益計算書の純利益を考える時には、下水道使用料等の収入から減価償却費を引いたけど、実際には、その分のお金が手元に残っているんだよ。

「減価償却費」は、むかし支払った「建設費」のうちの今年度分を計上してるだけだから、実際には現金の支払いは無いんだね！！
だからこのお金は、「資本的収入－資本的支出」の赤字を埋めるのに使えるってことかな？



©R.S.H/RUNE



その通り！！
逆に「長期前受金戻入」は、むかし貰った「補助金」のうちの今年度分を計上してるだけだから、お金の動きを考えるとときには引かなきゃいけないんだ！！

まとめ



ここまでの話をまとめよう！！

「資本的収入－資本的支出」の赤字額は約33億8千万円。

損益計算書上の純利益（黒字額）は約6億5千万円。

損益計算書で支出としたけど使えるお金（減価償却費分）は約45億5千万円。

損益計算書で収入としたけど使えないお金（長期前受金戻入分）は約14億2千万円。

全て足し引きすると下の計算式のようなよ！！

資本的収入－資本的支出		-3,381,444,566 円
損益計算書上の純利益（黒字額）	+	650,923,374 円
減価償却費	+	4,550,633,926 円
長期前受金戻入分	-	1,422,069,503 円
		398,043,231 円

今年は4億円のプラスってこと？



そうだね。今年は4億円ほど使えるお金が増えたんだ。

このお金は「**留保資金**」と呼ばれているよ。

「留保資金」は今後の建設費や、赤字が出たときの補填に使えるお金になるんだよ！



安心した～！

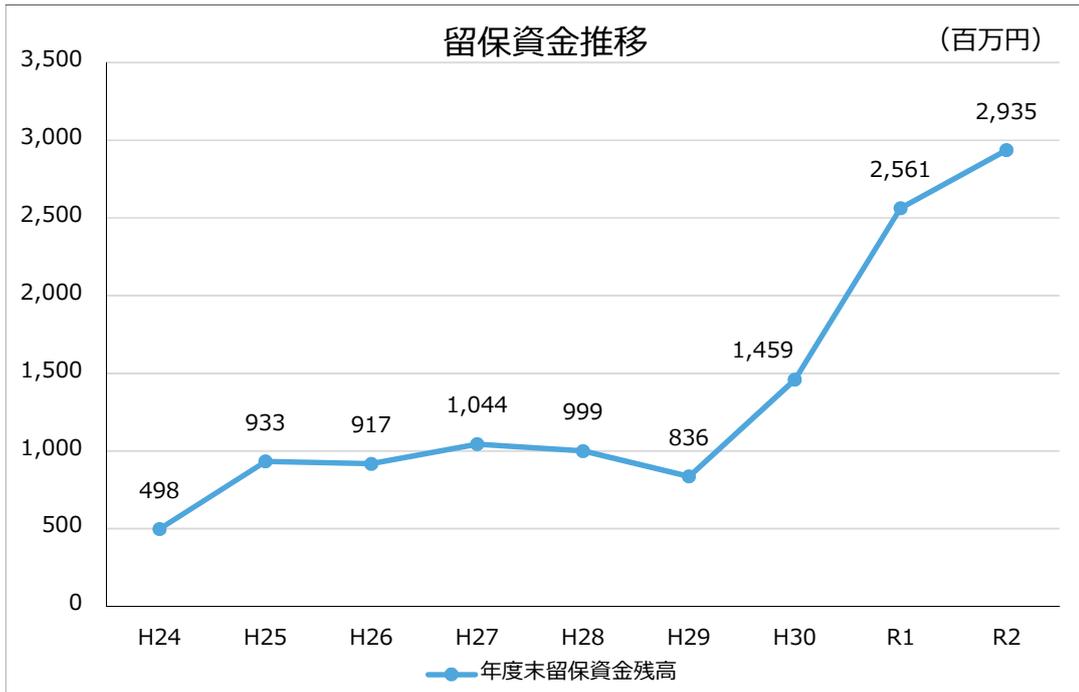
損益計算書で黒字が出ているから安心！っていうわけじゃなくて、資本的収入と資本的支出の結果も見ないといけないんだね！！

そういえば「留保資金」って今どれくらいあるのかな？



©R.S.H/RUNE

3 留保資金の推移を見てみよう！



平成24年から企業会計制度を導入したから、それ以降しか分からないんだ。
 企業会計を導入する前は、現金の出入りだけを見て、足りない分は一般会計から（税金）補填されていたんだ。

今は30億円ぐらい「留保資金」があるんだね！
 これが多いのか少ないのか、桁が大きすぎて分からないよ～。

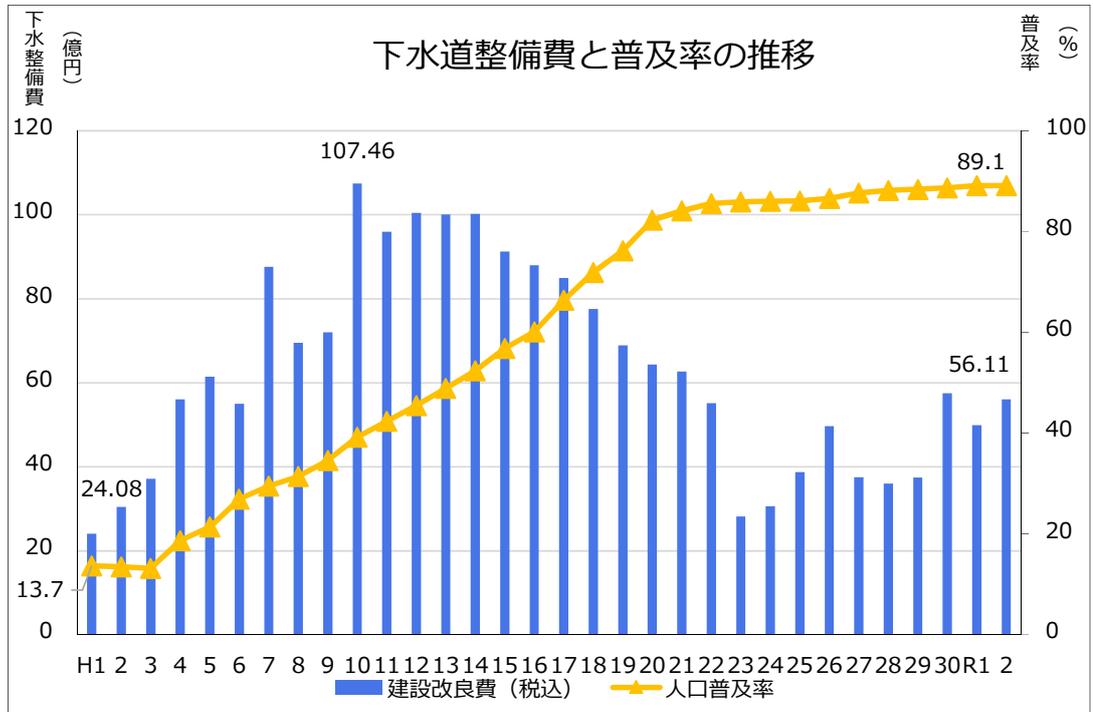


©R.S.H/RUNE



「留保資金」は今後の建設費や赤字が出た時の補填に使えるお金ってさっき言ったけど、まさに下水道事業はこれからたくさんの建設費が必要な状況なんだ！
 下水道事業が置かれている状況を見てみよう！

4 下水道事業が置かれている状況を見てみよう！



岡崎市の下水道は、平成に入ってから急速に普及しているんだ。今は市内の90%近くの人に使ってもらってるよ！そして今では、約1,800kmもの下水道管や16箇所のポンプ施設があるんだ。施設は作って終わりじゃなくて、古いまま放置していると下水道管が潰れて道路が陥没してしまうような事故につながってしまうから改築や更新が必要なんだ。一気に作った施設が、今後一気に古くなっちゃうからこれからたくさんのお金が必要になるんだ。それに将来人口も減っていきと言われてるよね。使う人が減ってしまうと、それだけ下水道使用料の収入も減っちゃうんだ。

それは大変！下水道事業はどうなっちゃうの・・・？



だから、長期的な視点に立って将来を見据える必要があるんだ！
 下水道事業はみんなの生活になくてはならない重要なものだから、ずっと続けていくために、「上下水道新時代 暮らしを守る 次の100年へ」を理念とする岡崎市上下水道ビジョンを令和2年度に策定したよ！
 その理念の実現に向けて、長期的な視点に立った効率的な改築更新計画を策定している最中なんだ。
 そして将来の留保資金残高がどうなるのかを見て、手遅れになる前に手が打てるようにしていくよ！！

施設が古くなったのに、お金がないからって新しくできないと困っちゃうんだね。そのためにお金がたくさん必要になるのね。ずっと下水道事業が続けられるようにみんなで考えていかなきゃね！



5 財務三表を読み解こう！

【図解】損益計算書（決算書P66～67）

損益計算書は、ある一定期間における企業の経営成績を明らかにするため、その期間中に得たすべての収益、これに対応するすべての費用、最終的な損益を記載する報告書です。

★損益計算書から分かること

損益計算書からは、どのような経営活動によって、どれだけ経営成績を上げたかを知り、それに基づいて過去の経営を分析し、また、将来の方針を立てることができます。

2 令和2年度岡崎市下水道事業損益計算書

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

(単位 円)

1 営業収益				
(1)下水道使用料	3,861,883,179			
(2)他会計負担金	2,160,949,055			
(3)その他営業収益	223,596	6,023,055,830 (ア)		
2 営業費用				
(1)管渠費	561,742,975			
(2)ポンプ場費	331,374,700			
(3)水質管理費	41,451,682			
(4)業務費	186,937,634			
(5)総係費	176,255,944			
(6)流域下水道管理運営費負担金	1,258,319,176			
(7)減価償却費	4,511,427,698			
(8)資産減耗費	39,206,228			
(9)農業集落排水処理施設維持管理費	30,915,681	7,137,631,718 (イ)		
営業損失			1,114,575,888 (ウ) = (ア) - (イ)	
3 営業外収益				
(1)受取利息及び配当金	20,035			
(2)他会計負担金	1,466,540,456			
(3)補助金	349,500			
(4)長期前受金戻入	1,422,069,503			
(5)引当金戻入益	2,120,019			
(6)雑収益	5,364,939	2,896,464,452 (エ)		
4 営業外費用				
(1)支払利息及び企業債取扱諸費	1,099,593,798			
(2)雑支出	52,264,994	1,151,858,792 (オ)	1,744,605,660 (カ) = (エ) - (オ)	
経常利益			630,029,772 (キ) = (ウ) + (カ)	
5 特別利益				
(1)過年度損益修正益	19,972,609			
(2)その他特別利益	4,300,000	24,272,609		
6 特別損失				
(1)過年度損益修正損	3,379,007	3,379,007 (ケ)	20,893,602 (コ) = (キ) - (ケ)	
当年度純利益			650,923,374 (サ) = (キ) + (コ)	
前年度繰越利益剰余金			0	
その他未処分利益剰余金変動額			0	
当年度未処分利益剰余金			650,923,374	

★注目ポイント

①営業損失

本業による損益が分かる！

下水道事業の本業は、汚水をきれいにすることと雨水を排水することです。そのための費用や、みなさんからいただいた下水道使用料や、雨水を排水するための費用に対する一般会計からの繰入金等の、主たる営業活動の結果を示しています。

②経常利益

経営活動から生じた損益が分かる！

本業に関する損益に加えて、一般会計からの繰入金による収入のうち営業外収益としたものや、借入金利息の支払い等の資金調達等に関する損益の結果を示しています。

③当年度純利益

最終的な損益が分かる！

1年間のすべての損益の結果を示しています。

3つの方法で損益を把握します
損益 = 収益 - 費用



プラスなら利益が出ている！
マイナスなら損失が出ている…



【図解】貸借対照表（決算書P71～73）

貸借対照表は、年度末時点で企業が所有しているすべての資産、負債及び資本を表示する報告書です。

令和2年度岡崎市下水道事業貸借対照表
(令和3年3月31日まで)

★貸借対照表から分かること

表の左側【資産の部】からは、企業が事業を行うために所有している資産の残高を知ることができます。
表の右側【負債の部】及び【資本の部】からは、資産を取得するためにどのように資金を集めたかを知ることができます。

資産は、性質によって「固定資産」と「流動資産」に分かれています。
区分の仕方は、1年間のうちに現金化できるものを「流動資産」、できないものを「固定資産」としています。

★注目ポイント

(前年度)

①流動比率(%) = 流動資産 ÷ 流動負債 × 100 = **90.7%** (83.3%)

すぐに支払わなければならないお金(流動負債)を、すぐに支払えるか(現金等の流動資産がどれくらいあるか)を表します。

200%以上が理想的で、指標が高いほど経営が安定していると言えます。
(参考: R1決算類似団体平均値=73.0%)

②有形固定資産減価償却率(%) = 有形固定資産減価償却累計額

$$\div \text{有形固定資産のうち償却対象資産} \times 100 = \mathbf{21.0\%} (18.9\%)$$

有形固定資産の減価償却がどの程度進んでいるか(その資産をどれだけの期間使っているか)を表します。

指標が高いほど資産の老朽化度合いが高いと言えます。
(参考: R1決算類似団体平均値=31.0%)

【資産の部】		金額(円)	【負債の部】		金額(円)
固 定 資 産		146,137,911,371	固 定 負 債		60,591,753,513
有 形 固 定 資 産		140,042,923,518	企 業 債		60,318,483,752
土 地		2,558,790,518	リ ー ス 債 務		534,212
建 物		5,098,681,927	引 当 金		272,735,549
構 築 物		154,743,848,290	流 動 負 債		7,424,867,671
機 械 及 び 装 置		8,345,943,567	企 業 債		4,111,737,626
車 両 運 搬 具		2,070,203	リ ー ス 債 務		225,608
工 具 器 具 及 び 備 品		12,351,838	未 払 金		3,240,468,258
リ ー ス 資 産		1,046,900	引 当 金		26,432,000
減 価 償 却 累 計 額	△	35,243,250,811	そ の 他 流 動 負 債		46,004,179
建 設 仮 勘 定		4,523,441,086	繰 延 収 益		47,733,369,620
無 形 固 定 資 産		6,083,134,353	長 期 前 受 金		58,699,956,187
施 設 利 用 権		6,083,134,353	収 益 化 累 計 額	△	10,966,586,567
投 資 そ の 他 の 資 産		11,853,500	負 債 合 計		115,749,990,804
長 期 貸 付 金		9,813,500			
そ の 他 の 投 資		2,040,000			
流 動 資 産		6,736,797,509	【資本の部】		金額(円)
現 金 預 金		5,192,031,976	資 本 金		36,376,864,666
未 収 金		1,280,254,380	剰 余 金		747,853,410
貸 倒 引 当 金	△	2,973,007	資 本 剰 余 金		96,930,036
短 期 貸 付 金		937,000	利 益 剰 余 金		650,923,374
前 払 金		266,547,160	資 本 合 計		37,124,718,076
資 産 合 計		152,874,708,880	負 債 資 本 合 計		152,874,708,880

負債は、企業債(借金)に代表されるように、他者に返さなければならない(支払義務がある)お金です。



繰延収益は、資産の取得(下水道管渠の建設等)の際にももらった補助金等、返す必要のないお金です。



資本は、資本金や事業で獲得してきた利益等、返す必要のないお金です。



こうゆう指標を昨年度の指標や他の団体と比べることで、現在の経営状況を把握することができるんだね!



©R.S.H./RUNE

『お金の使い道』!!
集めたお金が、「どのような状態」で「どれだけ」あるかが分かります。

『お金の集め方』!!
企業が資産を獲得するためのお金を、「どうやって」集めたかが分かります。

【図解】キャッシュ・フロー計算書（決算書P92、93）

キャッシュ・フロー計算書は、対象年度中の現金の増減とその理由を表す報告書です。

令和2年度岡崎市下水道事業キャッシュ・フロー計算書
(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

★キャッシュ・フロー計算書から分かること

損益計算書、貸借対照表からは読み取りにくい、「1年間の現金の流れ」をその理由と合わせて知ることができます。

★注目ポイント

- ①現金を増やすことはできたか？
まずは現金が増えているか、減っているかを確認します。
その後で各キャッシュ・フローを見ると、なぜそうなったのか？を知ることができます。
- ②「業務活動によるキャッシュ・フロー」はプラスか？
下水道事業を続けるためには、本来の営業活動で得たお金（下水道使用料）で、汚水をきれいにするための負担金や汚水を流すための下水道管の維持管理・更新をしていかなければなりません。そのためには、「業務活動によるキャッシュ・フロー」は必ずプラスにならなければなりません。
- ③「投資活動によるキャッシュ・フロー」はどれくらいマイナスか？
現在、多くの下水道施設が更新期を迎えており、多額の更新費用を必要としています。施設の更新をすれば「投資活動によるキャッシュ・フロー」は必ずマイナスとなりますが、その規模はどれくらいか？が重要です。
- ④「財務活動によるキャッシュ・フロー」はプラスかマイナスか？
下水道事業では、下水道使用料で稼いだ資金に加えて、お金を借りることで下水道施設の更新を行っています。「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、借入と返済による資金の増減を表しており、借りた金額よりも返す金額が多ければマイナスに、借りた金額が返す金額よりも多ければプラスになります。



©R.S.H/RUNE

令和2年度のキャッシュ・フロー計算書からは、本来の営業活動で38億円のお金を得て、施設の更新等で26.5億円、借入金の返済に1.5億円使ったから、結果としてお金が10億円増えたことが分かるんだね！

	(単位 円)
1 業務活動によるキャッシュ・フロー	
当年度純利益	650,923,374
減価償却費	4,511,427,698
固定資産除却費	39,206,228
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	20,508,146
賞与等引当金の増減額 (△は減少)	2,821,000
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	690,754
長期前受戻入額	△ 1,422,069,503
受取利息及び受取配当金	△ 20,035
支払利息	1,099,593,798
未収金の増減額 (△は増加)	79,664,044
未払金の増減額 (△は減少)	△ 15,058,561
前払金の増減額 (△は増加)	△ 23,647,160
前受金の増減	△ 133,224
その他流動負債の増減額	△ 3,878,865
小計	4,940,027,694
利息及び配当金の受取額	20,035
利息の支払額	△ 1,099,591,763
業務活動によるキャッシュ・フロー	3,840,455,966
2 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 4,710,375,778
無形固定資産の取得による支出	△ 100,580,182
短期貸付金の償還による収入	2,075,370
長期貸付金の貸付による支出	△ 800,000
工事負担金による収入	58,252,459
他会計負担金による収入	106,966,109
受益者負担金による収入	92,015,118
国庫補助金による収入	1,883,768,779
県補助金による収入	9,458,510
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,659,219,615
3 財務活動によるキャッシュ・フロー	
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	3,846,000,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 4,097,143,339
一般会計からの出資による収入	96,303,630
リース債務の返済による支出	△ 200,195
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 155,039,904
資金増加額 (又は減少額)	1,026,196,447
資金期首残高	4,165,835,529
資金期末残高	5,192,031,976

「業務活動によるキャッシュ・フロー」は、下水道事業本来の営業活動で資金を稼げているか？を表しています。



「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、下水道施設の更新等、設備投資にどれだけ資金を使ったか？を表しています。



「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、借入と返済のどちらを多くしたか？を表しています。





©R.S.H/RUNE

「 下水道 雨水も汚水も すーいすい 」

令和 3 年度下水道推進標語